

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2020開催決定！
 期間：6月4日（木）～ 6月14日（日）オンライン会場は5月27日（水）～先行配信

2020年のテーマは「ボーダレス」。
 国やジェンダー、年齢、制作技術などのあらゆる「ボーダー」を越え
 表現された映像作品約200点を一挙上映・配信

【米国アカデミー賞へのパスポートとなるオフィシャルコンペをソニーが支援】

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2020は、6月4日（木）から6月14日（日）の期間にて都内複数会場にて開催が決定。WEBではオンライン会場を設置し、開催に先駆けて5月27日（水）より配信を開始いたします。112の国と地域から集まった作品の中から、厳選なる審査で選ばれた約200作品を無料上映・配信いたします（一部有料イベント有り）。

世界から人々が集い、世界中からの注目が集まる本年、22年目を迎えるSSFF & ASIAのテーマは「ボーダレス」。上映するショートフィルムでは、民族や人種、国、貧富、ジェンダーといった「ボーダー」を越えた、家族や友人、恋人、社会とのつながりなど人間にとっての普遍的な物語が描かれる一方、未だ私たちが知る事なかった様々な視点や価値観と、それに基づく想いが語られます。私たちは本映画祭を通じて、世界中の人々の感性に触れる機会を創れればと思っています。

また、本年より、「テクノロジーに裏打ちされたクリエイティブエンタテインメントカンパニー」として、クリエイターの夢の実現を支援するソニー株式会社（以下、ソニー）が、翌年のアカデミー賞短編実写部門への推薦につながるオフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門）をサポート。ソニー株式会社とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下、ソニーモバイル）が共同で、新しい映像文化や潮流を次世代クリエイターと一緒に探求する「Creators' Junction partnered with Xperia™」のイベントも実施します。

OFFICIAL COMPETITION

supported by SONY

SSFF & ASIAからは、2013年のインターナショナル部門観客賞作品『リッチーとの一日』、2016年のグランプリ作品『合唱』がアカデミー賞短編実写部門のオスカーを獲得したのに続き、2019年インターナショナル部門のベストアクトレスアワード受賞作品『向かいの窓』が2020年のオスカーを獲得、2019年インターナショナル部門優秀賞作品『兄弟愛』もアカデミー賞にノミネートという快進撃を続けています。

特別上映作品として決定している、本年度アカデミー賞4冠に輝いたポン・ジュノ監督のショートフィルム*をはじめ、プログラム、上映作品、イベント等の詳細は4月中旬以降にプレスリリースおよびウェブサイトにて発表いたします。* 作品情報は2ページ目に記載

なお、フェスティバルアンバサダーは映画コメンテーターのLiLiCoさんが続投！映画祭のみどころやショートフィルムの魅力を語って頂くなど、映画祭を盛り上げていただきます。

ソニーが本映画祭とともに才能あふれる若いフィルムメーカーたちの支援・育成に参画することで、SSFF & ASIA 2020は更に1歩、日本発、世界レベルの映画祭へと近づきます。本年度のSSFF & ASIAにぜひご期待ください。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2020 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- フェスティバルアンバサダー：LiLiCo（映画コメンテーター）
- 開催期間：6月4日（木）～6月14日（日）
※オンライン会場は5月27日（水）～6月14日（日）
- 上映会場：オンライン会場および都内複数の会場にて予定
※開催期間は各会場によって異なります
- 料金：無料上映 一部、有料イベントあり
※予約開始は4月末以降を予定。
- 一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844
- オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/>
- 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
- ※上記の記載内容は変更になる場合がございます。



<映画祭ポスタービジュアル>

2020年アカデミー賞4冠のポン・ジュノ監督によるショートフィルム『支離滅裂』(Incoherence)を特別上映!

『支離滅裂』(Incoherence)

監督: ポン・ジュノ

1994年/韓国/30:00/ドラマ

毎朝ジョギングのたびに牛乳を盗む編集記者、酔って屋外で用を足そうとしたところを警備員につかまった検察官、ポルノ雑誌を読むのが好きな大学教授。こんな3人が社会問題を討論するテレビ番組の出演者として集まった。



ショートフィルム『支離滅裂』

ポン・ジュノ監督

オフィシャルコンペティション(インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門)をソニーがサポート

<オフィシャルコンペティション(部門)構成図>

OFFICIAL COMPETITION

supported by SONY

★アカデミー賞公認映画祭とは: 世界に130余りの公認映画祭があり、公認映画祭のグランプリや推薦枠を得ることでアカデミー賞短編部門の参加資格を得ることができます。SSFF & ASIAはアジアでは唯一、オフィシャルコンペティション各部門の優秀賞の計3作品をアカデミー賞に推薦することができます。

インターナショナル部門

★優秀賞

アジア
インターナショナル部門

★優秀賞

ジャパン部門

★優秀賞

★米国アカデミー賞
短編部門
ノミネート候補

3月26日(木)より、SSFF & ASIAとソニー、ソニーモバイルによる共同プロジェクトを紹介する特設サイトがオープン。

URL: <https://www.shortshorts.org/sony/>

<その他のアワードおよびコンペティション(部門)>

オフィシャルコンペティション(インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン)の各部門優秀賞の中から、審査員によりSSFF & ASIA グランプリが選定され、ジョージ・ルーカスアワード(グランプリ)が授与されます。

また、オフィシャルコンペティションのアジア インターナショナル部門およびジャパン部門の優秀賞には、副賞として東京都知事賞が授与されます。なお、翌年のアカデミー賞短編部門には、ノンフィクション部門の優秀賞も推薦されます。

このほか、CGアニメーション部門、Cinematic Tokyo部門、Branded Shorts部門、ミュージカルショートフィルム企画コンペティション、Shibuya Diversity Award、観光映像大賞の各優秀賞を映画祭内オープニングセレモニー/アワードセレモニーにて発表・授与します。

Creators' Junction partnered with Xperia™ 概要

新しい映像文化や潮流を映画監督や次世代のクリエイターなどと一緒に探求するイベントを開催。ゲストを迎えて映像制作の新たな可能性を模索していきます。

※ゲストやイベント詳細は下記ウェブサイトにて4月下旬に発表予定

<https://www.shortshorts.org/sony/creatorsjunction/>

ソニーモバイルのこれまでのクリエイター支援プロジェクトの紹介として、映像制作を学ぶ大学生がフラッグシップスマートフォン「Xperia 1」のシネマ撮影専用機能「Cinema Pro(シネマプロ)」を用いて撮影した映像作品なども公開します。

CREATORS' JUNCTION

partnered with XPERIA



別所 哲也
(SSFF & ASIA代表)

世界中の注目が集まるここ、東京で22年目となる映画祭を開催できることにとてもワクワクしています。

今年のテーマを「ボーダレス」とした我々の映画祭は、世界から集まったショートフィルムを通じて、今を生きる人間だからこそ様々な視点や価値観の発信、また、進化し続ける技術が可能にする、表現の多様性を体感できる場にしたいと思っています。

東京、そしてオンラインで日本全国の方々とショートフィルムによって感動をわかちあえるのを楽しみにしています。

そしてその熱量がボーダーを超えて、日本と世界のミライにつながっていきますように！



LiLiCo
(映画コメンテーター)

1年は本当に早いですね！この時期になりますと世間のショートフィルムへの期待が自然と増し、そして実際に作品をつくって来たみんなの、披露する場へのハングリー精神が湧いているので、この空気感に毎年浸っています。

クリエイターのアイデアはエンドレスですし、普段触れ合えることのない国と地域の作品からも文化や香りを、短い時間ではありますが感じ取ることが出来ます。これはショートフィルムならではの！

今年はどうな作品に出会えるのか、1年で一番萌えるとき。みんな一緒にスパークしましょう。

【本映画祭の歩み】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。

現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、2001年にSSFFで観客賞を受賞したジェイソン・ライトマン監督に、SSFF & ASIAから名誉賞が送られました。

また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞、最大4作品が翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。

SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

※SSFF & ASIA 2020 のウェブサイトは2020年4月中旬以降にオープン予定

【新型コロナウイルスの対応について】

本イベントは、新型コロナウイルスの感染の広がり状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。なお開催に関する情報は、随時オフィシャルページにてアップデートいたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：児玉（070-3191-4995）、滝口、武田
TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中
TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます（期間：3月26日～6月30日）】

<https://drive.google.com/drive/folders/1sWuqGqxFMIV62Jcto-YPYcy4T8rdJh1L?usp=sharing>